

8. さまざまな熱中症対策の取組事例

事例5. 静岡県焼津市 小中学校での熱中症対策

- 静岡県焼津市では、児童・生徒が活動する際の熱中症対策として小中学校のグラウンド等に**ミストシャワー**を設置している。
- 登下校時の熱中症対策として、**クールタオル**、**ランドセル背あてパッド**を小学校1～6年生を対象に配布し、登校後は教室の冷凍庫に保冷剤を保管し、下校時も背あてパッドを使用できるように工夫している。
- 焼津市内の全小中学校の校舎(教室)に空調設備を設置済。令和6年度は焼津市内の全中学校の体育館への空調設備の設置が完了し、令和7年度中に焼津市内の全小学校の体育館への空調設備設置を目指す。
※設置完了までの経過措置としてスポットクーラーを使用。



▲ミストシャワーの設置

児童が校庭で活動する際の出入口となる場所にミストシャワーを設置。校庭活動中の冷却に活用している。



▲ランドセル背あてパッド

登校時は自宅で冷却した保冷剤を装着し、下校時は各教室に1台(高学年は学年に1台)設置された冷凍庫で授業中に冷却した保冷剤を装着する。



▲クールタオルケース

ランドセルに専用ケースにいたクールタオルを取り付けた。クールタオルを水に濡らして首に巻き児童の体温を冷まし、登下校中の熱中症の発生を予防した。

■苦勞した点

真夏日や猛暑日に屋内外のスポーツ施設を利用する方は、「夏は暑いもの」という前提で利用されている傾向が強く、熱中症対策の必要性が伝わりにくいため、きっかけづくりに苦勞した。

■工夫した点

登下校中の熱中症対策だけでなく、体育館に温度計や救急対応フローの掲示をしたり、廊下に児童が自らWBGTを見て行動できるような掲示をするなど、自主的に予防ができるようにした。